

9 養生片仔癭の効果と応用

○謝心範 (漢方養生研究所)
野村正和 (漢方養生研究所)
矢内原昇 (矢内原研究所)

〔目的〕「片仔癭」は勝れた肝臓用剤として広く認知されてきたが、一方、C型肝炎に対する有用性や配合成分の国際的な合法性において問題点も指摘されている。今回これらの諸問題を解消し、より有用性勝れた製品として「養生片仔癭」を調製した。

我々は、食品として開発された「養生片仔癭」の種々の肝機能異常者に対する有用性を明らかにする目的で検討を加えた。

〔方法〕通院、加療にも拘わらず、十分な肝機能の改善が得られなかった種々の肝機能異常者において、担当責任者から直接に本品に関する適切かつ十分な説明を受けた上で、本人が自由意思の基に本品の使用を希望した者に対して、医療機関への通院、受診を継続することを条件に、本品一日3gを三分割して、毎食後に経口摂取するように指導した。

尚、肝機能検査は、本人が通院する医療機関において従来の治療計画に従って実施され、本人の意思により提供された検査結果を基に検討を加えた。

〔結果〕「養生片仔癭」を使用した7例の肝機能異常者において、使用開始後10日から約1ヶ月以内にAST(GOT)またはALT(GPT)の改善傾向が認められた。

7例の肝機能異常者の内、4例はC型慢性肝炎患者で、その他はB型肝炎患者(前立腺肥大症併発)、抗がん剤による薬物性肝炎患者(脂肪肝併発)および糖尿病を基礎疾患とする非ウイルス性肝炎患者であった。

使用前値と比較すると、平均で、C型慢性肝炎患者ではGOTが約72%、GPTが約21%に、またその他の肝炎患者ではGOTが約81%、GPTが約36%に減少していた。

〔結論〕新たに開発された「養生片仔癭」は、C型慢性肝炎をはじめ、種々の肝機能異常者の肝機能を速やかに改善する可能性が示された。